

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：和東町

| プロジェクト名                          | 人にやさしいまちづくりプロジェクト  |                                     | 実施期間                           | H29年度                                      | テーマ      | 少子高齢化  | 新規・継続の区分 | 継続 |
|----------------------------------|--|-------------------------------------|--------------------------------|--|----------|--|----------|----|
| 地域における現状、課題及び住民ニーズ               | <p>本町の高齢化率は40%台と、平成25年度の京都府の高齢化率25%を遥かに凌いでおり、今後も過疎・高齢化が進んでいくことが懸念される。過疎・高齢化を食い止めるため、自立再生するための取組を住民と一体となって一層推進していく必要がある。</p> <p>若年層の流出により少子高齢化が顕著な本町は、子どもが自由に遊べる場が少なくまちの活力となる子どもが健やかに育つ環境、育児し易いまちづくりへの環境整備が求められている。</p> <p>また、豊かな自然に囲まれ多くの人を訪れる状況の中で外国人や障害のある方など様々な立場の人と、地域で共に生活ができるような環境を作り上げていく必要がある。</p> |                                     |                                |  |          |  |          |    |
| プロジェクトの目的及び概要                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園児の送迎バスを運行し、安全に園児の送迎ができる環境を確保し、子育てを支援する。</li> <li>・ 高齢者の社会参加を促進し、コミュニティの活性化やお互いに支え合い、健康に過ごせるまちづくりを目指す。</li> <li>・ 保育園での英会話授業を通じて海外の文化に触れる機会を創出し、多様な文化を受け入れる環境を作る。</li> <li>・ 子どもの遊ぶ場を整備することで、子育てしやすいまちづくりを目指す。</li> </ul>                                       |                                     |                                |  |          |  |          |    |
|                                  | 総事業費（千円）   | 9,229                               | 本年度事業費（千円）                     | 9,229                                      | 交付金額（千円） | 4138   |          |    |
| プロジェクトを構成する事業の平成29年度事業実績(出来高数値等) |  |                                     |                                |  |          |  |          |    |
| 事業分類                             | 事業名  | 事業種別                                | 事業概要                           |  |          | 主な実績（出来高数値等）   |          |    |
| 市町村実施事業                          | 保育園バス運行事業  | 交付対象事業                              | 保育園児の送迎バス運行に係る委託               |  |          | 送迎バスの運行により、園児の安全な送迎を実現するとともに子育ての負担軽減を図った。                |          |    |
| 住民協働事業                           | まごころふれあいサロン事業  | 交付対象事業                              | 和東町社会福祉協議会が実施する事業に対して補助        |  |          | 高齢者が地域に参加し住民同士の交流を図る場を設けた。ボランティアを含めて多くの住民が参加した。<br>参加者数： |          |    |
|                                  | 子ども遊戯環境整備推進事業  | 交付対象事業                              | 公園等に設置している子どもの遊具等を整備した         |  |          | 老朽化した遊具等を整備することにより、子どもたちが安心して遊べる環境を整備することで、子育て環境の向上を     |          |    |
| 住民が取り組む事業                        | 異文化交流体験事業  | 交付対象事業                              | 多様な文化の理解・受入れ等を目指して保育園で英会話教育を実施 |  |          | 保育園児向けの英会話授業を行うことで、特色ある教育を実践し子育て環境の充実を図った。               |          |    |
| 成果指標①                            | 成果指標の目標数値  | 0～5歳の人数 H28 108人 → H29 120人         |                                | 成果指標の実績値 (30年3月31日時点)                      |          | 94人  |          |    |
|                                  | 成果指標の達成状況  | △                                   | (左の理由)                         | 0～5歳の世代がいる家庭の、生活上の利便性が高い近隣市町村への転出が止まらなかった。 |          |  |          |    |
|                                  | 成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期  | (理由)                                |                                | (時期)                                       |          |  |          |    |
| 成果指標②                            | 成果指標の目標数値  | ふれあいサロン参加人数 H28 3,034人 → H29 3,300人 |                                | 成果指標の実績値 (30年3月31日時点)                      |          | 2858人  |          |    |
|                                  | 成果指標の達成状況  | △                                   | (左の理由)                         | 継続的な参加者はいるが、高齢化による人口減少の影響で参加者数が減少した。       |          |  |          |    |
|                                  | 成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期  | (理由)                                |                                | (時期)                                       |          |  |          |    |

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：和束町

|   |  |  |
|---|--|--|
| <p>本年度の事業実績が<br/>成果指標の達成に与え<br/>た効果</p> <p>※未達成の場合も効果<br/>を記載すること</p> | <p>0~5歳の人数の減少が続くなど、人口減少が進む中特色ある教育の実施や子育て環境の充実による負担の軽減等の政策を実施していく。<br/>高齢者が増加する中、年齢に関係なく社会に参加し活躍できる場を整えることにより、町全体で様々な年齢の方を支える環境を作っていく。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p> |  |
| <p>本プロジェクトに<br/>対する自己評価</p>   | <p>関連事業との連携効果</p>  |  |
|   | <p>府と市町村等との連携に資する成果</p>  |  |
|   | <p>住民の自治意識を高める成果</p>   | <p>・ふれあいサロンを通じて高齢者の方の外出機会を確保するなどして、町内に住む高齢者の生きがいがいづくりにつながった。</p> |
|   | <p>リーディング・モデル成果</p>  |  |
|   | <p>広域的波及成果</p>   |  |
|   | <p>行財政改革に資する成果</p>   |  |
|   | <p>その他の成果</p>  |  |

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。